



横浜市第1号ESCO事業者を決定！！

～ 光熱水費 7,600万円 / 年の削減！～

横浜市では、既存公共建築物の省エネルギー化改修にあたって、環境負荷の低減と財政負担の軽減を図るため、民間の資金・ノウハウを活用するESCO事業を積極的に導入することとしています。

横浜市第1号事業として公募した、**新横浜地区3施設ESCO事業**を「横浜市ESCO事業提案審査委員会」において審査の結果、**最優秀提案**及び**優秀提案**を決定しました。

障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
横浜市総合リハビリテーションセンター
横浜市総合保健医療センター

事業者

最優秀事業者としては、**エネルギーアドバンス(株)**を代表会社とする**三機工業(株)**、**川本工業(株)**、**(株)山下設計**、**東京ガス(株)**の5社からなるグループを選定しました。

提案内容

提案内容は、**高効率ガスコジェネレーションシステム**や**排熱投入型ガス吸収式冷温水機**の導入だけでなく、**3施設の電気と熱供給システムを統合し、緻密なエネルギー収支の検討に基づくエネルギーの相互利用システムの提案**もあり、さらに、**高効率ガス吸収式冷温水発生機**、**高効率小型貫流ボイラーへの更新**、**空調機やポンプのインバーター化**など、多岐にわたる省エネルギー技術により、高い省エネルギーの実現や大幅な二酸化炭素排出量の削減が可能になりました。
削減効果は、「**省エネルギー率**」が18.3%、「**CO2排出削減率**」が30.4%、「**光熱水費削減額**」は**7,600万円/年**、となり、現在消費している年間の**光熱水費2億4千万円**の**31.2%**を削減する大きな効果が期待できる提案となっています。

審査経過

今回の事業者公募では、4企業・グループから提案が出され、いずれも**光熱水費削減額が大きく、省エネルギー効果の高い提案**となっていました。事前公表した審査基準に基づいて、外部委員により、それぞれの専門的な観点から、総合的に審査をしました。

選定結果

	代表会社	グループ構成会社
最優秀	(株)エネルギーアドバンス	三機工業(株)、川本工業(株)、(株)山下設計、東京ガス(株)
優 秀	(株)東芝	東芝ファイナンス(株)
	(株)日立製作所	日立キャピタル(株)
	東京電力(株)	日本ファシリティーズソリューション(株)、(株)山武

横浜市ESCO事業提案審査委員会委員

	氏 名	職 名	役 割
委員長	田村 明弘	国立大学法人 横浜国立大学工学研究院 教授	学識経験者(建築部門)
委 員	飯田 訓正	慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授	学識経験者(エネルギー部門)
	三枝 康雄	(株)浜銀総合研究所戦略研究部 部長	事業計画部門
	保坂 直人	キリンビール(株)横浜工場 副工場長	建築設備部門